

独立行政法人 国際協力機構  
Japan International Cooperation Agency

大山(鳥取県)

## 新年明けまして おめでとうございます。



JICA中国国際センター職員一同気持ちを新たに  
して効果的な事業の展開に取り組みますので、よろしく  
お願い申し上げます。さて、昨年は台風、地震等の自然  
災害に日本列島は襲われ、大きな被害に遭遇しまし  
た。長岡市に住む私の友人の家族も被災しました。  
被災者の皆さんが一日も早く復興・再建されること  
を祈るばかりです。

2005年の国際協力の関連では、1月には国連防  
災世界会議が兵庫県で開催、また日本政府がイニシ  
アティブをとった「国連持続可能な開発のための教  
育の10年」がスタートし、2月には京都議定書の発  
効、6月の先進国サミットにおいてアフリカの開発  
が主要議題になること等が予定されております。ま  
た、JICA事業関連では、青年海外協力隊員を派遣  
して40周年を迎えます。

JICA中国国際センターに関し、研修員受入事業  
では、昨年10月に第1回目のボスニア・ヘルツェゴ  
ビナに対する「平和のための教育ネットワーク構築」  
を開催しましたが、人間の安全保障の関連の人材育  
成にさらに取り組むことや研修員受入事業で課題と  
なってきた帰国研修員に対するフォローアップを具  
体化していくことに重点を置いていきたいと思いま  
す。更にJICA-Net(国際通信網)を活用した研修  
を予定しています。青年招聘事業では、この事業  
が地域の国際化及び地域の活性化にも寄与できる  
ことからそれを考慮した事業に発展していければと  
考えています。

地方自治体やNGOに対する草の根技術協力事業  
においては、開発途上国のニーズに合致した案件  
の発掘に努力するとともに、実施中の案件の成果  
が出てくるように

地方自治体やNGOの皆さんと連携を強化して  
いきたいと思えます。

開発教育支援事業に関しては、学校の先生や高  
校生を対象としたプログラムや、途上国で活躍し  
たボランティア等によるJICA国際協力出前講座  
などは大きな変更を考えていませんが、目的の  
達成に支障が及ばない範囲で参加者に経費の  
一部負担を引き続きお願いしたいと思ってい  
ます。

ボランティア事業関連では、現職のまま一人  
でも多くの市民にボランティア事業に参加でき  
るように引き続き地方自治体職員(市町村)の  
派遣条例の整備などに関係者のご理解を得な  
がら取り組んでまいります。

広報関連では、昨年10月に岡山県で開催  
した1人1人のできることをテーマにした「  
ピース・トーク・マラソン」を広島県で開  
催を予定しています。

なお、JICAは本部と一部の国内機関が昨年  
環境ISO14001の認定を受けましたので、  
当センターも関係者の協力を仰いで努力し  
たいと思えます。

JICA中国国際センター所長 熊倉 晃



# 特集 — JICA中国開発教育支援事業 —

～もっと知ってみませんか開発途上国のこと 考えてみませんか国際協力について～

## 「開発教育」ってなに？

開発教育協会の定義によると、開発教育とは「私たちひとりひとりが、開発をめぐる様々な問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、共に生きることでできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動」です。「開発教育」は英語の「Development Education」の直訳で、1960年代後半に北欧諸国で始まり、開発途上国の文化や社会、そこに暮らす人々の生活を本国に暮らす人々に知ってもらうために働きかけることでした。現在は、望ましい開発のあり方、地球社会における人々の生き方を問う教育へと概念を拡大しています。

## なぜJICAが開発教育支援事業を行うの???

JICAはこれまでの国際協力事業の中で培い蓄積してきた、国際協力・開発途上国に関するリソース（経験、人材、情報など）を、地域に還元したいと思っています。教育現場を持たないJICAは、学校や市民活動による開発教育実践の現場を側面から支援し、日本と開発途上国を結ぶ架け橋としての役割を担いたいと思っています。

## 「JICA中国開発教育支援事業」の具体例を紹介!!!

開発途上国に関するリソースの還元

### JICA国際協力出前講座

青年海外協力隊OVやJICA職員などを講師として派遣しています。

### 視聴覚資料の貸し出し

開発途上国や国際協力に関するパネル、ビデオや、開発途上国の楽器、衣装や民芸品などを貸し出しています。

### 施設見学の受け入れ

JICA中国のある「ひろしま国際プラザ」への訪問を受け入れています。JICA事業紹介、青年海外協力隊の体験談、民族衣装・楽器の体験ができます。

### JICA研修員の学校訪問

技術研修に来日している様々な開発途上国からの研修員が学校を訪問し、児童・生徒との国際交流を行います。（訪問可能地域限定）



いろいろな国々の民芸品が詰まった「JICA IN THE BOX」  
（写真はペルー BOX）



民族衣装も豊富に揃っています  
（ホームページに写真付リスト掲載）

自分に何ができるのか「考える機会」の提供

### 中学生・高校生エッセイコンテスト

「国際協力について考えること」をテーマに募集。上位入賞者の副賞は、開発途上国を視察する研修旅行です。

### 教師海外研修

小中高の教員を対象とした、開発教育実践のための総合的な研修です。事前研修・海外研修・事後研修の三部になっています。

### 国際理解教育研修会

小中高の教員を対象とした、開発教育実践のための手法や、授業実践例の紹介などを行う国内研修です。

### 高校生国際協力体験プログラム

高校生を対象とした、開発途上国や国際協力について体験型で学習する国内プログラムです。

### インターン・職場体験の受け入れ

中学生～大学院生を対象としています。

### 中国5県におけるセミナー・イベント等の開催

地方自治体やNGOと共催で、開発教育に関する各種セミナー、国際協力に関するイベント等を開催しています。

以上「JICA中国開発教育支援事業」の詳細、利用された方の体験談などはホームページで！

<http://www.jica.go.jp/branch/cic/pages/kaihatsukyoiku/index.html>

# あなたの街の国際協力推進員

## JICA国際協力推進員とは?

私たちはJICAと地域の連携強化を図るために、JICAデスクとして各都道府県国際化協会へ配置され、地域の特色を活かした国際協力に取り組んでいます。地方自治体、NGO、教育関係、そして地域の人々が、JICAと一緒に国際協力を進めるためのパイプ役です。

「JICAってどんなことをしてるの?」「青年海外協力隊に参加したい!」「開発途上国について知りたい!」「開発教育ってなに?」などなど、皆さんの疑問・質問にお答えします。

国際協力に興味のある人、情報収集をしている人、実際にチャレンジしたい人、すでにがんばっている人、お気軽に私たちに声をかけてください!

### 島根県

(財)しまね国際センター

TEL:0852-31-5056

FAX:0852-31-5055

配置先住所:〒690-0826

島根県松江市学園南1-2-1

くびきメッセ2F

E-mail:jicadpd-desk-shimaneken@jica.go.jp

URL: <http://www.sic-info.org/>



山下 稚香子

青年海外協力隊OG  
派遣国:ソモン諸島/トンガ  
職種:家政

### 鳥取県

(財)鳥取県国際交流財団

TEL:0857-31-5951

FAX:0857-31-5952

配置先住所:〒680-0947

鳥取県鳥取市湖山町西4-110-5

鳥取空港国際会館1F

E-mail:jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

URL: <http://www.torisakyu.or.jp/ja/index.html>



大嘉 麻子

青年海外協力隊OG  
派遣国:ジンバブエ  
職種:青少年活動

### 山口県

(財)山口国際交流協会

TEL:083-925-7353

FAX:083-920-4144

配置先住所:〒753-0811

山口県山口市吉敷3185-1

E-mail:jicadpd-desk-yamaguchiken@jica.go.jp

URL: <http://www.yiea.or.jp/>



吉野 環

青年海外協力隊OG  
派遣国:ルーマニア  
職種:青少年活動

### 岡山県

(財)岡山県国際交流協会

TEL:086-256-2917

FAX:086-256-2226

配置先住所:〒700-0026

岡山市奉還町2-2-1

E-mail:jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp

URL: <http://www.opief.or.jp/>



藤本 裕美

青年海外協力隊OG  
派遣国:セネガル  
職種:家政

### 広島市

(財)広島平和文化センター

TEL:082-242-8879

FAX:082-242-7452

配置先住所:〒730-0811

広島市中区中島町1-5

E-mail:yamasaki.e@pcf.city.hiroshima.jp

URL: <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd/index.cgi>



山崎 映子

青年海外協力隊OG  
派遣国:トンガ  
職種:珠算

### 広島県

(財)ひろしま国際センター

TEL:082-541-3777

FAX:082-243-2001

配置先住所:〒730-0037

広島県広島市中区中町8-18

広島クリスタルプラザ6F

E-mail:hic06@hiroshima-ic.or.jp

URL: <http://hiint.hiroshima-ic.or.jp/hic/>



田中 順子

青年海外協力隊OG  
派遣国:グアテマラ  
職種:観光業



# 各県 国際協力推進員の動向

私たちはJICAと地域の連携強化を図るために、JICAデスクとして各都道府県国際化協会へ配置され、地域の特色を活かした国際協力に取り組んでいます。

**島根県** 9月28日、サンラポーむらくもにてJICAボランティア参加者の帰国報告会を開催しました。島根県からはこれまで約200名の方が、JICAボランティアとして各国に派遣され活躍されました。今回は、帰国間もないシニア海外ボランティアOBの青木照男さん、青年海外協力隊OGの平田順子さん、同じく長富邦恵さんから報告をしていただきました。派遣された国も、現地での活動内容もまったく異なる3人なので、内容も多岐に渡りました。アフリカのチュニジアでの話、海に囲まれた大洋州のヴァヌアツでの話、日本と同じアジアのバングラデシュでの話を写真や、衣装を交えながらお話くださいました。

みなさん現地での活動は文化や考え方の違いもあり、苦労も多かったようです。しかし、その苦労話を笑って話せる3人はとても素敵でした。

苦労以上に途上国で得るものが多かったから、その苦労を笑い飛ばせるのかもありません。話を聴きに来てくださった人の中には、最初はよく知らない国ばかりだったけど、それぞれの国の文化について興味が湧いてきて、もっと話を聴きたくなったとか、それぞれがJICAボランティアに参加したきっかけは「いったいなんだったんだろう？」という声も聞かれました。

このように、開発途上国について、JICAボランティアについて興味を持っていただける機会を今後も設けていきたいと思っています。お楽しみに！



報告の様子：報告者（平田順子さん）

**鳥取県** これからの社会を担っていく大学生・青少年に、世界で起っている様々な平和に関する課題を自らの課題として考え、行動していけるきっかけ作りにもつなげよう、11月6日（土）鳥取市国際交流プラザ多目的ホールにて、「メディアから平和を考えよう～イラク問題を通して見る平和～」が開催されました。

これは、鳥取大学平和学実行委員会、難民支援団体ピースパードとともに企画した、「平和な社会を創ろう～今、青少年にできること～」の第2回目で、講師に、拓殖大学国際開発教育センター 第11期地球市民アカデミア事務局 石川一喜さんをむかえ、約30名の大学生、一般の方が、メディアリテラシーについて参加型ワークショップを行いました。

参加者のほとんどの方が、メディアリテラシーについては、ワークショップを受けることが、初めてでした。メディア報道の裏に隠された、戦略などをはじめ知った人もいて、メディアを批判して見ることの大切さを感じられたようです。また、午後に行ったグループワークで、メッセージ広告を作成しましたが、思ったより難しく、情報を批判することはできても、

メディアからの情報に対して自分が思ったこと感じたこと、自分の思いを発信する側に回ったとき、グループで、なかなかまとまらないグループもありました。11月12日（金）には、第3回目「共生をめざして～イスラエル・パレスチナの現状と平和構築の試み～」を行いました。大学生に向けて、このようなセミナーを定期的に今後も行うようにしていきたいと思っています。



いろんな新聞記事を見ながら話し合い



新聞の読みくらべをしているところ（中央は、講師の石川一喜さん）

**岡山県** 10/10「倉敷国際ふれあい広場2004」、10/30・31「地球市民フェスタ in おかやま2004」にて国際理解教育をテーマにJICAブースを出展し、来場者はjicafeでお茶を試飲しながら、楽器を鳴らしたり、民族衣装を着て記念撮影をしたりして途上国を味わいました。また、青年海外協力隊OVによる「食から始まる異文化理解」では、試食やジェスチャーを通じて楽しく途上国の様子を勉強しました。

2月には「地球市民講座」、青年海外協力隊岡山県OV会による帰国

報告セミナー、また随時青年海外協力隊「特別説明会」を大学などでを行い、より多くの人と国際協力について考えていきたいと思っています。



**広島県** 国際理解教育セミナー開催中！

昨年度に引き続き、国際理解教育セミナーが始まり、昨年を上回る申し込みを頂き、県外からの参加者を含め、大好評を頂いております。コミュニケーション、実践事例、ジェンダー、経済格差、参加型手法などをテーマにし、学校現場や地域での活動に役立てて頂きたいと思っております。飛び入り参加も見学者としてなら可能です。ご興味のある方は是非ご連絡下さい！！

カンボジア・スタディーツアー近日中に募集開始！

JICA、ひろしま国際センター、広島県の共同企画で平成17年2月27日～

3月6日（8日間）のスタディーツアーを行います。JICAのボランティア活動視察、NGOや広島県のカンボジア復興支援関連施設訪問を含む、盛り沢山のツアーです。ボランティア活動に興味がある方は是非、現場を見る良いチャンスだと思います。定員があるのでお早めにお申し込み下さい！！



第2回国際理解教育セミナー 講師の谷口氏

**広島市** 「第5回『国際交流・協力の日』開催！」

12月5日、広島平和文化センター(国際会議場)において『国際交流・協力の日』が開催されました。

『国際交流・協力の日』は、広島市内あるいは海外で国際交流・協力活動を続けている市民団体が連携して「学び」を基調とした様々な国際交流・協力に関する事業を協働して行い、広島の皆様方に外国に文化の一端にふれていただくとともに、国際交流・協力活動に関心を寄せていただき、広島国際化の推進に寄与することを願って開催しているものです。

今年は朝日新聞編集員の加藤千洋氏を講師に迎えた講演会、映画「アイラブピース」上映会、ひろしまを英語でガイド、難民問題ワークショップなど「見つめよう地球学ぼう世界」をテーマに19種類の催しがありました。

紹介展示コーナー JICAブースではジャイカフェやパネル展、相談コーナーを設け、アジアアフリカ屋台と音楽フェスティバルでは、青年海外協力隊広島県OB会が世界各国の料理屋台を出店、たくさんの市民の方にご来場いただきました。

市民がつくる手作りイベントとして、多くの方に親しまれているこの交流と学びの場に、JICAはこれからも協力していきます！



**山口県** 今年度で3年目を迎える「国際理解推進リーダー養成講座」のスキルアップ編が11月6・7日の2日間に渡って開催されました。講師に桜井高志氏（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）をお迎えし、山口県の国際理解教育推進のためにはどのようなことを行っていくべきか、というテーマを大学生・社会人・教員など様々な背景を持つ受講者の方たちと共に考えました。1日目は国際理解教育の意義等をゲームなどを交えて解りやすく楽しく学び、2日目は本講座のテーマに対して現時点で具体的にどのような問題点があるか、それをどのように解決していくか、明日からできることは何か、を考えていきました。

その中で受講者同士の結びつきを強固なものにし、お互いの情報交換

を図る目的でメーリングリストが立ち上がりました。平成17年1月8日には受講者主体での国際理解教育の分科会も開催されます。来年度からは養成講座・入門編の企画段階から推進員、受講者一体となって運営していきたいと思っています。

国際理解教育・その他国際交流関係に興味のある皆さん、ぜひ、山口県国際交流協会までお越し下さい。お待ちしております。



平成16年スキルアップ編の様子（財）山口県国際交流協会にて

# JICA中国開発教育支援事業に参加された方の声です

平成 16 年度教師海外研修(エチオピアコース)参加

広島県立世羅高等学校教頭 小野 一恵

7月31日、私たち広島県・岡山県の教師12名は猛暑の日本を脱出し、13,000 km 離れたエチオピアに向け旅立ちました。開発教育のリソース発掘、異文化体験、現地の人との交流など各自明確な目的を持ち、この研修に参加しました。

真夜中に首都アジスアベバに着いた私たちを、JICAエチオピア事務所の斎藤所長さんや徳田さん、現地職員の人たちが迎えてくださいました。神経は興奮していたのですが、長旅の疲れかベッドに入るといつの間にか眠っていました。

翌日からは、精力的にいろいろな施設やプロジェクトを視察しました。水プロジェクトやウォーターハーベスティング(雨水を集めるための伝統的な技術)の視察を通して、われわれの生活にとっていかに「水」が貴重であるか、水道をひねればすぐ水が出る生活を当たり前だと思っている私には衝撃でした。水を濾過する祖先の知恵がここでは近代設備より有効なのだ、「ひとの知恵」が大いなる遺産だと知りました。また、学校訪問で見た生徒たちの「学ぶ」姿に、教育の原点に触れた気がしました。

## 外国っちゃんとは そげなところかー? そげそげ!

平成 16 年度青年海外協力隊帰国報告会(鳥取県)

11月21日(日)に鳥取県米子市で、鳥取県の青年海外協力隊帰国報告会が開催されました。最近帰国した協力隊OV3名(埜田美香OGセネガル保健士、藤井達世OGパラグアイ家政、椿大亮OBエクアドル野球)による帰国報告、そして様々な国々から帰国した協力隊員が手作り準備した14種類にも及ぶ世界の料理が振舞われた「世界屋台村」など、今年も盛りだくさんの内容で200名に及ぶ来場者を楽しませてくれました。

毎年、鳥取弁を使ったユニークなイベントタイトルと内容で楽しませてくれる同県の帰国報告会ですが、今年のメインイベントはなんといっても、「国際協力クロストーク ネット会議だよ!全員集合」。この企画は、現在パプアニューギニアで理数科教師として活動中の鳥取県出身森田徹生隊員と、今まで彼とメールでやり取りをしながらその国のことや、ボランティア活動について学習を深めてきた鳥取県岩美町立岩美西小学校の児童をJICA-netを使ってつなぐというもの。同校児童は、昨年度

また礼儀正しくお辞儀をしたり家族の絆がとても強いことなど、日本人とよく似た習慣を持っていることに親近感を覚えました。しかし、これは現代の日本からは消えつつあるのが本当に残念です。

海外に出ると日本のことがよくわかるといいますが、世界のあらゆるところで現地の人に溶け込み活躍する日本人がいます。「もの」を提供する援助から「人」を育てる支援に国際協力もシフトしており、長い目でみた協力のあり方が問われていました。

国の発展の鍵は人材育成であり、人づくりの要は教育だと痛感しました。私たちはみな教師であることの意味と責任をこのエチオピアでの研修で再確認できたのではないのでしょうか。本当に学ぶことの多かった研修ですが、今、目の前にいる生徒たちに私が見たこと、考えたことを伝えていくこと。そしてそこから行動を起こすことが次の私への宿題です。



スクリーンに映るパプアニューギニアの森田隊員



大人気!世界屋台村

## ボスニア「平和のための教育ネットワーク構築」コース 研修員来日



2004年10月5日から10月30日の約4週間、ボスニア・ヘルツェゴビナからの9名の研修員を受け入れました。研修を通じて研修員からは、「日本の社会・文化に対する理解が深まった」「日本の社会は非常に組織的で、また人々はフレンドリー」「広島の経験を学び、また日本文化の伝統を感じることができた」といった声があがっていました。また「広島で滞在した」JICAの宿泊施設では世界の

さまざまな地域から来た異なった民族の方々と過ごすことのできる機会もありとても貴重な体験をした」といった声もありました。

研修員はこの研修で、広島における平和のための活動や、平和を築くための学校教育について学びました。このコースの目標として、研修員の間でネットワークを構築し、帰国後に協力して活動することがあります。すでに帰国した研修員の一部からは、そういった活動の報告が届いています。



帰国後に作成した展示物

### 「研修を終えて」

アイダさん 今後もボスニア・ヘルツェゴビナ社会における平和構築を教育の現場から発信していけるように、平和教育の大事さを長い目で伝えていきたい。

エスマさん 日本の政府が建ててくれた学校の裏庭に花開く桜の花の香りのように、広島で今回つくられたボスニア・ヘルツェゴビナの教員ネットワークが今後も続いていくことを願っている。また来年の桜の花が咲く頃には、活動の成果を報告できたらと考えている。

来年また、10名前後の研修員が来日します。日本で研修を受けた研修員の間でネットワークが確立し、ボスニア・ヘルツェゴビナの中で大きな活動となることを期待しています。

# JICA Information

### 岡山「地球市民講座 難民編」

第1回

日時：平成17年2月9日(水)18:30~20:30

テーマ：「世界の難民概況」(仮題)

講師：浅羽 俊一郎(仮)

第2回

日時：平成17年2月16日(水)18:30~20:30

テーマ：「難民支援NGOの取り組み」(仮題)

講師：難民を助ける会(仮)

第3回

日時：平成17年2月23日(水)18:30~20:30

テーマ：「日本の難民受入の現状

~私たちにできることから」(仮題)

講師：(財)アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部  
+在日難民(仮)

### 広島「国際理解教育セミナー～入門編」

第4回

日時：平成17年1月16日(日)13:00~17:00

テーマ：「世界の多様性と格差」

~世界がもし100人の村だったら

民族や言語の多様性と経済格差及び南北問題

講師：(特活)DEAR開発教育協会理事 上條直美さん

第5回

日時：平成17年2月20日(日)13:00~17:00

テーマ：「参加型手法の実践例について」

身近なリソースの教材化と展開方法

講師：ERIC国際理解教育センター 代表 角田尚子さん

### 広島「国際理解教育研修会～中級編」

日時：平成17年1月29日(土)13:00~20:30

(JICA中国宿泊)

平成17年1月30日(日)9:00~15:30

テーマ：挑戦してみよう!

国際理解教育授業カリキュラム作り

講師：ERIC国際理解教育センター 代表 角田尚子さん

### 広島 東広島市生涯大学システム 「JICA市民講座」

第3回

日時：平成17年3月24日(木)18:30~20:30

講座名：長期研修員の母国紹介

講師：広島留学生

場所：ひろしま国際プラザ(東広島市鏡山3丁目3-1)

定員：60名

長期研修員として滞っているブラジル人研修員さんの母国紹介を予定しています。

### 山口「いわくに地球市民セミナー」

第1回

日時：平成17年1月22日(土)9:00~17:00

テーマ：行ってみよう!

JICA中国国際センタースタディーツアー

集合解散：岩国市役所正面玄関

開催地：JICA中国国際センター

講師：JICA職員

第2回

日時：平成17年1月29日(土)9:30~12:00

テーマ：チャレンジ!

「地球市民の目」で新しい地球のみかた

開催地：岩国市役所2階 第一会議室

講師：山口ケニアを知る会 代表 高見 早苗さん

## 第1回 JICA 理事長表彰 (平成16年10月1日)

中国地方受賞者

### 個人

林 武宏(広島大学大学院教育学研究科及び国際協力研究科 教授)

### 団体

しょうばら国際交流協会(会長 土井 幹雄(広島県))

津山と世界を結ぶ会(代表 村上 育子(岡山県))

## JICA ボランティア派遣人数

2004年11月30日現在

県名	協力隊	青年海外V	シニア海外V	青年V	日系社会V	シニアV	日系社会	合計
鳥取県	12	1	0	0	0	0	0	13
島根県	18	2	1	0	0	0	0	21
岡山県	32	7	3	0	0	0	0	42
広島県	53	12	2	2	2	0	0	69
山口県	28	7	1	0	0	0	0	36

## お問い合わせ

JICA中国  
独立行政法人国際協力機構 中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1 ひろしま国際プラザ内

TEL:082-421-6300 FAX:082-420-8082

E-mail:jicacic@jica.go.jp

URL:http://www.jica.go.jp/branch/cic/index.html

